

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 5年 2月24日公表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	その日ごとの児童の人数や特性に合わせて1階、2階スペースを使い分けております。また、密にならないように机の配置を工夫しております。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0	療育見守りを十分に行える配置となっております。職員数は、基準を満たして対応しておりますが、随時児童に合わせて人員の確保、適正な配置を行ってまいります。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	部屋ごとに名前を付けて児童に分かりやすい工夫をしております。また、段差がある職員が付き添っております。	今後も生活空間は児童に分かりやすい構造になるよう配慮を続け、段差がある場所や2階に上がる際には、職員が必ず付き添い安全への配慮を心がけてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1	毎朝朝会でミーティングを行い、月2回のリフレクション等では、課題があれば自由に話し合える場を設けております。	今後も継続して職員間での目標設定と振り返りに取り組み、業務を充実したものにしてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	リフレクション会議で研修の機会を使っております。社内オンライン動画などで研修を行い資質の向上に努めております。今後コロナが終息した後は、外部での研修にも参加し、更に職員の質の向上に繋げたいと考えております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	アセスメントシートや家庭連携の記録などを参考に課題を発見し、解決策の話し合いを行っております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	統一されたアセスメントツールを使用しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	立案したものを事業所内で話し合いチームで行っております。	今後も、職員間で意見を出し合い、児童に応じたプログラムの提供をおこなってまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	活動プログラムについて児童一人一人の状態に合わせて事業者内で工夫して固定化しないよう立案をおこなっております。	今後も担当職員が児童の様子や状況に応じて、固定化しないよう工夫したり、季節ごとの行事や製作も取り入れて児童が楽しめるよう取り組んでまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	事前に課題を考えて支援しております。	利用児童のニーズも取り入れながら、色々な活動内容を提供してまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	児童の発達年齢に合わせて計画を作成しております。今後も保護者様のご意向や職員からの情報を考慮しながら個別・集団を組み合わせた支援計画を作成してまいります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎朝ミーティングを行い、療育の配分や療育内容の確認準備を行っております。今後も職員間の役割分担、情報共有をおこないます。支援計画を常に確認し、計画に沿った支援をおこなえるように個人療育ファイルの中に支援計画のコピーを入れて共通理解に努めてまいります。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	3	3	翌日の朝会等でわからなかった点などは共有し相談しあっております。	送迎や休みでその日のうちに情報共有ができない場合には、職員連絡ノートにより確認、押印しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	利用の都度必ず記録を残し、職員間で情報共有できるようにしております。	
18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	6か月に一度は必ずモニタリングを行い、計画の見直しを行っております。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0	ガイドラインの総則の基本活動から組み合わせ、統一した支援を行っております。		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	担当者会議には、児童の状況を把握している児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	行事予定や下校時刻等用紙をいただいております。また、送迎時や電話連絡などで情報共有に努め、急な変更にも対応できるよう、連絡が取りあえるよう日頃から連携を図っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	保護者様に情報提供を依頼し、関係機関とは、移行シート等により支援内容、児童の特性、状態、課題等の相互理解に努めています。関連機関とは今後も繋がりを切らず、相互に連絡を取り合い、情報や助言をいただきながら児童の課題に向き合っております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3	現在対象となる児童はありませんが、その際は適切に対応できるように情報の整理をおこなっております。	今後も保護者様からご依頼やご相談があった場合には、ご家庭や事業所等へ情報公開や助言等を適切におこなってまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	適時情報収集をおこない、オンライン受講できるものは受講しております。	今後も会議には積極的に参加し、助言を求め、より良い支援に繋げてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	コロナ感染予防のため交流はおこなっていません。	個人情報の観点やコロナの状況など検討を重ね、必要に応じて交流方法を検討してまいります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	5	今年度はコロナの影響で参加機会はありませんでした。	コロナ収束後には、自立支援協議会の活動にも協力していき、地域の1つの資源としての役割を担えるよう保護者の声を代弁するなどの意見を出し合い、地域活動をおこなってまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	事業所に来所された際や送迎時など、定期的に子どもの状況を伝えあい共通理解をおこなっております。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	保護者様より要望がある場合は家庭でもできる療育のヒントになるように療育で使用した課題（道具）や動画を閲覧していただき、アドバイスなどもさせていただいております。	今後は、よりプログラム化されたサポートが安定して行えるように検討してまいります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に児童発達支援管理責任者が対応し、質問事項に答えられるように配慮しております。法令等の変更時は文書にて説明をおこない、ご不明な点等があれば、随時対応させていただきます。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	送迎時や来所前・面談など直接、連絡帳のやりとりなどで、いつでも気軽に相談していただけるよう日頃からつとめております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	コロナであり保護者同士の関わりは持っておりません。	コロナの状況が収束するまでは、今のところ父母会や保護者様同士の交流はできておりません。状況が落ち着き次第、検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	苦情があった場合は迅速かつ丁寧に解決できるよう対応しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	定期的に「COMPASS だより」を発行しております。児童の連絡帳カレンダーには、行事や活動写真を載せてご紹介しております。また、YouTube、公式Webサイトのブログで事業所の活動内容をご紹介しております。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	個人情報が出ないように鍵付き書庫に保管しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	特性に踏まえて口頭・筆談などあらゆる手段を活用し情報伝達に努めております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	現時点では、招待する機会はありません。	コロナウイルスの影響に配慮しながら、保護者様のご意向をうかがい、療育に影響のない範囲で企画・運営の検討をおこなってまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	各種マニュアルはわかりやすい場所に掲示・配布職員に周知しております。今後も保護者様へお知らせを継続し緊急時に職員が適切に対処できるよう年間を通して避難訓練をおこなってまいります。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	定期的に地震、火災、風水害、不審者への対応訓練や避難訓練を実施しております。非常時を想定した訓練を年間計画に盛り込み、緊急時に職員がしっかりと対応出来るように努めてまいります。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	例年行われる行政関係の研修に参加するようにしております。また、研修記録を作成し他の職員に情報共有をしております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	契約時に、生命及び身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得るようになっています。また、個別支援計画にも文書を記載し同意を得ております。「やむを得ず」の状態については、組織的に判断し、安易な判断にならないよう十分留意します。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	一覧表をわかりやすい場所に掲示しております。	医師の指示を順守し、周知を徹底し、都度振り返り、共有情報が更新されているかなども注意をしております。食物の提供を行う場合は事前に保護者様の再確認を行うよう、細心の注意を払ってまいります。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハット報告書をその都度作成し、事業所内で共有し再発防止に努めております。		

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。